

代沢九条けいじばん

第34号
2016年1月13日発行
代沢九条の会
(代沢2-37-5) Tel&Fax
(5481-8189)

日本には、さまざまな人がいて、さまざまな考え方がある。それでも、根っこに九条をおく。

憲法九条に反する安保関連法 (戦争法)は廃止にしよう!

統一署名を始めました ~めざせ3000人 at代沢



安保関連法は3月末に施行されます

この法律によって、武力行使の新3要件を満たせば、自衛隊は日本が直接攻撃を受けていなくても、海外出かけて武器をもって戦うことができるようになります。

武力行使の新3要件①同盟国が攻撃を受けている、②日本が存立の危機にあり、国民の生命に明白な危険がある③必要最小限度にとどめる。 ←しかしながら、判断するのは政府であり、国会承認は過半数を占める与党の一存なのだから、全く歯止めにはなりません。

安保関連法の次には?

安倍首相は参院選で改憲派が3分の2をとり改憲を目指すと言明。“日本を再び世界の中心で輝く国としていく”(2016年頭所感)と述べた。

安倍政権のねらいは9条を変えて欧米諸国並みに紛争に武力介入ができる国となって世界から認められること。武器産業で経済を活性化させること

いま世界では

中東で、アフリカで、西アジアで、ウクライナで、紛争がやみません。世界中がテロの脅威にさらされています。

人々が苦しんでいます

いま日本は

武器をもって、紛争に参入するのか、それとも憲法九条をかかげて、戦争をなくす努力をするのか、瀬戸際に来ています。

戦争で苦しむのは私たち国民です

政治は最後は国会議員の多数決で決まっています。7月には参議院議員選挙があります。

いま、きめるのは私たちです

日本国憲法第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

【沖縄通信 - 喉元の骨】

2015年は、辺野古の座り込みで始まり、辺野古の座り込みで終わった。翁長沖縄県知事が実現させた菅官房長官との会談を皮切りに、安倍首相、中谷防衛大臣とも会談し、心の底から沖縄の民意を伝えるも、安倍政権は沖縄の民意を一顧だにせず、辺野古新基地建設に向けて、海上ボーリング調査を柱に“粛々”とそして着々と工事準備作業を続けた。

その安倍政権の強硬策に対する抗議行動の最前線が「辺野古の座り込み」だ。安倍政権にとっては、日本国民の1%強でしかない沖縄県民140万人の、更に一握りの県民と県外支援者による座り込みなど、取るに足らない「喉元の骨」程度の認識だったのだろう。しかし、チクチクとイラつく存在として次第に抵抗力を増し、結果として沖縄防衛局の工事作業を遅らせるに至った。

徹底して沖縄に弾圧を仕掛ける安倍政権は、秋口から警視庁の機動隊を投入し、辺野古の座り込みで抗議をする人々を暴力的に排除し、安倍政権の絶対的な権力を誇示した。それでも沖縄の座り込み抗議行動はくじけず、諦めなかった。今やその喉元の骨が、民主主義を貫く「最後の砦」になりつつあることを、沖縄は知っているからだ。そこが突破されれば、あとは怒涛の如く、安倍政権の思う壺だ。

『知っているけれど傍観者』の立場から抜け出し、沖縄の問題は「日本の問題」として、今こそ声をあげ行動してほしい。東京が変われば、日本を変えられるのだから。

(沖縄在住:岩村利一・幸子)

代沢九条の会とは・・・憲法9条を守ることが大切だと考えている代沢地域に住む人たちの集まり。大江健三郎氏、澤地久枝氏らの『九条の会』の呼びかけに応じて、独自に憲法9条を守る活動を行っています。『代沢九条けいじばん』を年4回発行し、駅頭や戸別に配布しています。

代沢九条の会 例会

2月20日(土) 13:30~16:00代沢東地区会館2階小会議室
地域から戦争をしない国をめざし、今、何をすべきか考えていきましょう。
どなたでもご参加ください。

URL:<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~daizawa9j/>





2 DAY for DEMOCRACY 日比谷野音にて

1日目はNO NUKES、2日目は、NO WAR。あれほどの大きな事故があったのに誰も責任を取らず、元の生活に戻ることもできない人が大勢いるのに、ドイツやイタリアでは廃止が決まったのに、再稼働してしまう日本はなんなんだろう？ 10の法律の改正と一つの新法を議論も尽くさず一括で決めてしまう日本はどこへ向かって行くのだろうか？ 一つ一つの法律をみんな本当にわかっているのだろうか？ 私たちの意思で日本の未来を選ぶのだろうか？ 民主主義を守るのか？ いろいろな人と話をしてみたい…例えば大音響で集会の妨害に来ていた右翼の人たちとか…穏やかに話せるならばだけど。(mieko.m)

最近思うこと

日本人の命が長くなり、特養などを含む施設が不足していましたが、最近では施設が多く建てられる様になり、空き部屋が多く出ているそうです。原因は、介護職員が集まらないからです。その理由は資格者は多いのですが、労働条件の悪さです。結果、安全を無視した安上りの施設＝無届の老人介護施設が増えています。

この状態をなくすには、国の支援が必要ですが、進んでいません。一方、自衛隊の装備や米軍の思いやり予算など、目に余ります。この状況を変えられるのは、国民の一票しかありません。(松尾弘)

どうしても理解できないこと

1. 戦後ずっと守られてきた憲法9条の解釈を勝手に変えたこと
2. 憲法学者の大多数が反対しても、意に介しなかったこと
3. 「一層丁寧な説明をする…」と言いつつ、同じ説明を繰り返すこと
4. 参院の「安保法制審議」ではルールを無視して強行採決したこと
5. 国会審議のルールを破ってでも、法案に賛成する与党議員
6. こういうリーダーに対して異論を述べない与党の政治家達
7. 特定秘密保護法に始まり、集団的自衛権の行使に至る政権与党の一人よがりが続いても、支持率が40%台というのは本当だろうか
何時から、こんな国になってしまったのか？ このまま行くと、一体どんな国になってしまうのか？ 他人ごとではない！ (Y. I.)

安倍さん、よそ事ではないですよ

ローマ出張中の11月13日、パリで同時多発テロが発生しました。COP21直前のことで、全世界に震撼が走りました。陸続のローマでのショックは大きく、普段はおおらかな国柄の当地でも厳戒態勢がとられ、市内の繁華街も閑古鳥が鳴いていました。現地のマスコミも「テロ一色」でした。自分自身も、無事帰国できるのかと不安でいっぱいでした。

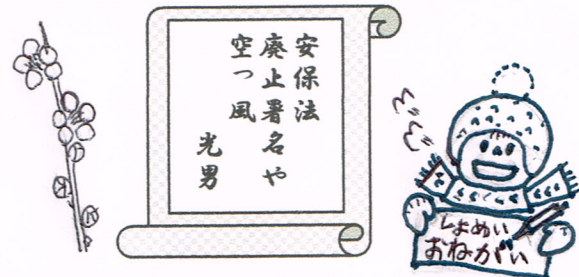
ISが「対峙する十字軍の国」への措置との犯行声明をだしましたが、日本も標的になっています。何しろ、我が国が集団的自衛権を行使する国になったのですから、ISからは「十字軍」とみなされています。パリでおきたような、取り返しのつかない事態がいつ起きても不思議ではない国柄になってしまいました。いずれはアメリカ軍やフランス軍などの諸外国と軍事行動を共にすることになるのですから。

安倍さん、よそごとではないですよ。もし取り返しのつかない事態が起きたとき、あなたは責任を持って日本を取り戻してくださいませよ。政治理念なのですから。(深田伊佐夫)

野党共闘への期待

現在の政治情勢の焦点は来年の参議院選挙に向かって一人区で野党陣営の統一候補がどれだけ準備できるかだと思う。過去の様々な選挙で野党がその政党数の数だけ立候補をたて、結果として自民党に圧倒的多数の当選者を与えてしまった。今回は有権者の期待に応えられる「選挙の形」が実現できる可能性が見える。政党にはそれぞれ主張や政策があるし、次元の低い利己主義もあるかもしれない。放っておくと「野党の共闘」ができない可能性は、まだ、大きい。

今、熊本県で野党の「統一候補」づくりの動きが具体化しているらしい。マスメディアは野党の統一候補づくりの大切さを先導するわけにはいかないだろう。私たちが草の根から声や動きを上げるしかないようですね。国民、有権者が選挙、政治を動かす始まりのために、行動をおこそうではありませんか。(代沢4丁目 高田)



安
保
法
の
廃
止
を
求
め
る
統
一
署
名
用
紙
の
冒
頭
に
ゴ
シ
ッ
ク
の
大
文
字
で
「
戦
争
法
の
廃
止
を
求
め
る
統
一
署
名
」
と
あ
り、
そ
の
下
に
10
行
の
趣
旨
説
明
の
文
が
続
き、
初
め
て
「
安
全
保
障
関
連
法
」
が
出
て
く
る。
こ
の
説
明
文
は
い
い
が、
冒
頭
の
「
戦
争
法
」
が
よ
く
な
い。
革
新
陣
営
の
仲
間
内
だ
け
の
署
名
用
紙
な
ら
ば
こ
れ
で
も
よ
か
ろ
う。
た
だ
し、
街
頭
で
通
り
が
か
り
の
人
や、
近
所
の
顔
見
知
り
程
度
の
人
に、
いき
なり
署
名
を
求
め
る
な
ら
ば、「
安
全
保
障
関
連
法
(
戦
争
法
)
の
廃
止
を
求
め
る
統
一
署
名
」
と
す
る
べ
き
だ。
最
近、
共
産
党
の
志
位
委
員
長
が
提
唱
し
て
い
る
「
国
民
連
合
政
府
構
想
」
を
真
に
実
現
し
た
い
な
ら
ば、
革
新
の
支
持
層
を
か
な
り
広
げ
な
く
て
は、
1
強
5
弱
の
こ
の
国
の
政
治
体
制
は
変
え
ら
れ
な
い。
そ
れ
に
は
リ
ー
ダ
ー
た
ち
の
頭
の
切
り
替
え
が
必
要
だ。
一
般
庶
民
目
線
で
丁
寧
に
行
動
実
行
し
て
欲
しい。
(
土
屋
光
男
)



政治ってむずかしいの？

政治のことはよくわからないから、とりあえず黙っていよう～という人が多いようです。有識者のようにりっぱなことは勉強不足でとてもいえないかもしれない。そもそも、普通の人は、日々、自分に与えられた仕事にあけくれ、あるいはほかに気になることが多すぎて、難しげな政治のことに気を配っている時間もないし。

ちょっと待って！ 沈黙はYesになってしまいます！ むずかしく考えず、いま、大事だと感じることを率直に表明すればよいだけです。私が守りたいのは、「命、安心、基本的な生活水準」です。もちろん、私一人ではなくて、世界中のみんなの！それを保障してくれる国なら、税金を払ってもよいです。でも、国益とやらをふりかざして、私の守りたいものを軽んじる姿勢がちらつく政治には、有識者のご意見を聞かずとも、No！です。国民の命に勝る国益なし！(松田K)

戦争法という法律はありません～署名活動の問題点

「総がかり行動実行委員会」作成の署名用紙の冒頭にゴシックの大文字で「戦争法の廃止を求める統一署名」とあり、その下に10行の趣旨説明の文が続き、初めて「安全保障関連法」が出てくる。この説明文はいいが、冒頭の「戦争法」がよくない。革新陣営の仲間内だけの署名用紙ならばこれでもよかろう。

ただし、街頭で通りがかりの人や、近所の顔見知り程度の人に、いきなり署名を求めるならば、「安全保障関連法(戦争法)の廃止を求める統一署名」とするべきだ。最近、共産党の志位委員長が提唱している「国民連合政府構想」を真に実現したいならば、革新の支持層をかなり広げなくては、1強5弱のこの国の政治体制は変えられない。それにはリーダーたちの頭の切り替えが必要だ。一般庶民目線で丁寧に行動実行して欲しい。(土屋光男)